学校番号	3022

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新・見てわかる社会と情報」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・情報の収集や発信などの実習を通して、情報技術の活用において配慮すべき事項、情報化の進展が我々の生活に及ぼす影響、情報社会へ参画するためには情報技術の活用が必要になることなどについて体験的に認識し、自分自身で考えることによって、情報社会に主体的に参加する態度を学びましょう。

２　学習の到達目標

・コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得する
・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。
・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力	・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果	学習状況の観察 ワークシートの記述 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報とメディア	○情報とは何か ○情報源と情報の検証 ○インターネットの活用	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a: 情報の信頼性や情報を検証する方法について関心をもち，積極的に情報を検証しようとしている。 b: 情報の価値や信頼性，情報を検証する方法について考え，判断し，その結果を適切に表現している。 c: インターネット上のさまざまなサービスを利用して情報を検索するための技能を身に付けている。 d:情報を検証する必要性や情報の信頼度を判断する方法について理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
1学期	情報社会と情報モラル	○情報社会が人に及ぼす影響 ・インターネットでのコミュニケーション ・ネットトラブル ・ネット詐欺 ・電子メールによるコミュニケーション ・コンピュータウイルス ・情報の流出とサイバー攻撃 ○情報社会における法と個人の責任 ・知的財産権 ・情報社会と個人の権利	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:情報社会において、情報の発信者および受信者として、情報モラルや法を踏まえて、適切に行動をしようとしている。 b:情報技術、法や制度および人間との関係に基づいて情報社会の安全や発展について考えることができる。 c:情報モラルを踏まえて、情報技術を活用することができる。 d:情報化が人間に及ぼす影響について理解する。よりよい情報社会を構築するための考え方や工夫について理解する。	実習作品 授業観察 ワークシート 定期考査

2学期	ディジタル情報と情報の活用	○情報の表現と伝達 ・情報の発信とメディア ・情報発信時の注意点 ・表現の工夫 ○プレゼンテーション ・プレゼンテーションの流れと注意点 ・プレゼンテーション	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: コンピュータを活用して，多様な形態の情報を統合することやわかりやすく表現することに関心をもち，積極的に工夫している。 b: プレゼンテーションの目的や対象者をふまえて，効果的なプレゼンテーションを考えている。 c: プレゼンテーションソフトウェアを活用するための技能を身に付けている。 d: 多様な形態の情報を統合化し，伝えたい情報をわかりやすく表現するために必要な知識を身に付けている。	実習作品 授業観察 ワークシート 発表 実技テストの結果 定期考査
3学期	望ましい情報社会の構築	○情報システムと人間 ・情報技術の発達と情報の爆発 ・ユビキタスコンピューティング ・あらゆるところに組みこまれるコンピュータ ○問題解決 ・問題解決のプロセス ・データの分析	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 問題解決やその方法について関心をもち，主体的に問題の解決を図ろうとしている。 具体的な問題解決の手順を学ぼうとしている。 b: 問題解決のプロセスについて考え，その結果を適切に表現している。 c: 問題解決を行うために，情報機器を効果的に活用することができる。 d: 問題解決を行うためのプロセスを理解している。 各プロセスの手順や方法を理解している。	実習作品 授業観察 ワークシート 発表 実技テストの結果

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解